

DMX5212-12G-8D/-8A

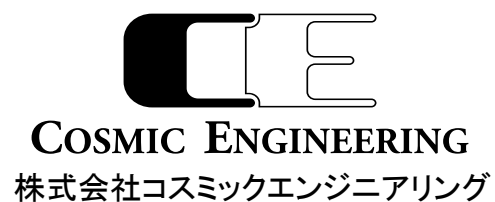
C5000 シリーズ

12G-SDI 対応

オーディオ・デマルチプレクス・モジュール

取扱説明書

Ver 1.00



はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。



警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。



■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。



■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。



■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。



■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



 注意**■ 電源プラグを抜くときは**

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

**■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

**■ 次のような場所には置かない**

火災・感電の原因となります。
湿気やほりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

**■ 通風孔をふさがない**

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。

**■ 重いものを載せない**

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

**■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する**

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

**■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く**

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

**■ お手入れをする時は電源プラグを抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	9
2. 構成.....	9
3. 機能.....	9
4. ブロック図.....	10
5. 操作説明.....	11
5-1. フロント、リア入出力及び LED、OLED 表示.....	11
5-2. フロントモジュール設定.....	13
6. フレームの取付方法.....	13
7. 基本操作.....	14
8. エンベデッド音声チャンネルについて.....	14
9. メニュー構成.....	15
10. メニュー説明.....	17
10-1. COMMON SETTING:TC SETTING:TC SEL.....	17
10-2. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET EN.....	17
10-3. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET HH.....	17
10-4. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET MM.....	17
10-5. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET SS.....	17
10-6. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET FR.....	17
10-7. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT HH.....	17
10-8. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT MM.....	17
10-9. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT SS.....	17
10-10. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT FR.....	17
10-11. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BG1~INIT BG8.....	17
10-12. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BGF.....	17
10-13. COMMON SETTING:TC SETTING:FR LOAD EN.....	17
10-14. COMMON SETTING:TC SETTING:DROP FR EN.....	17
10-15. COMMON SETTING:TC SETTING:LOST ACTION.....	18
10-16. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT LOAD.....	18
10-17. COMMON SETTING:TC SETTING:INT RUN.....	18
10-18. COMMON SETTING:TC SETTING:OUT LTC EN.....	18
10-19. COMMON SETTING:AMODE PRECHG:AUTO EN.....	18
10-20. COMMON SETTING:AMODE PRECHG:1 M PRESET~OTHER PRESET.....	18
10-21. PRESET SETTING:LOAD PRESET.....	18

1 0 - 2 2 .	PRESET SETTING:SAVE PRESET	18
1 0 - 2 3 .	PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01IN GAIN~EMB32IN GAIN	18
1 0 - 2 4 .	PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EXT01OUT GAIN~EXT16OUT GAIN	18
1 0 - 2 5 .	PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 AMP,TT2 AMP	18
1 0 - 2 6 .	PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 FREQ,TT2 FREQ.....	19
1 0 - 2 7 .	PRESET SETTING:REMAP:REMAP CH01~REMAP CH16	19
1 0 - 2 8 .	PRESET SETTING:DOWNMIX:SSEL CH01~SSEL CH32	19
1 0 - 2 9 .	PRESET SETTING:DOWNMIX:LCOEF CH01~LCOEF CH32.....	19
1 0 - 3 0 .	PRESET SETTING:DOWNMIX:RCOEF CH01~RCOEF CH32	19
1 0 - 3 1 .	PRESET SETTING:DOWNMIX:LSIGN CH01~LSIGN CH32	19
1 0 - 3 2 .	PRESET SETTING:DOWNMIX:RSIGN CH01~RSIGN CH32.....	19
1 0 - 3 3 .	PRESET SETTING:MIX:MIX1 SSEL CH01~MIX1 SSEL CH04.....	19
1 0 - 3 4 .	PRESET SETTING:MIX:MIX1 COEF CH01~MIX1 COEF CH04.....	19
1 0 - 3 5 .	PRESET SETTING:AUDIO DELAY	19
1 0 - 3 6 .	RETURN FEFAULT	19
1 0 - 3 7 .	FACTORY RESET.....	19
1 1 .	SNMP.....	20
1 2 .	WebControl	29
1 2 - 1 .	モジュール画面.....	29
1 2 - 2 .	ステータス.....	29
1 2 - 2 - 1 .	SDI 入力 1	29
1 2 - 2 - 2 .	デジタル音声リファレンスレベル (DMX5212-12G-8D)	30
1 2 - 2 - 3 .	アナログ音声のリファレンスレベル (DMX5212-12G-8A)	30
1 2 - 2 - 4 .	LTC アンロックエラー	30
1 2 - 3 .	各種設定	30
1 2 - 3 - 1 .	基本設定.....	30
1 2 - 3 - 1 - 1 .	プリセットロード	30
1 2 - 3 - 1 - 2 .	プリセットセーブ.....	30
1 2 - 3 - 1 - 3 .	初期設定に戻す	30
1 2 - 3 - 2 .	アラーム・トラップ設定	31
1 2 - 3 - 2 - 1 .	アラーム設定@SDI 入力 1 アンロックエラー.....	31
1 2 - 3 - 2 - 2 .	アラーム設定@LTC アンロックエラー.....	31
1 2 - 3 - 2 - 3 .	トラップ設定@SDI 入力 1 アンロックエラー	31
1 2 - 3 - 2 - 4 .	トラップ設定@LTC アンロックエラー.....	31
1 2 - 3 - 3 .	タイムコード設定.....	31
1 2 - 3 - 3 - 1 .	LTC 出力	31
1 2 - 3 - 3 - 2 .	TC 選択	31
1 2 - 3 - 3 - 3 .	TC オフセット制御	31
1 2 - 3 - 3 - 4 .	TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)	31
1 2 - 3 - 3 - 5 .	TC ロスト時動作	31

1 2 - 3 - 3 - 6.	TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)	32
1 2 - 3 - 3 - 7.	TC 初期値(BG1)~(BG8)、(BG フラグ)	32
1 2 - 3 - 3 - 8.	TC フレーム初期値ロード	32
1 2 - 3 - 3 - 9.	TC ドロップフレーム有効.....	32
1 2 - 3 - 3 - 1 0.	TC 自走時初期値ロード	32
1 2 - 3 - 3 - 1 1.	TC 自走開始.....	32
1 2 - 3 - 4.	出力設定.....	32
1 2 - 3 - 4 - 1.	音声遅延(ms)	32
1 2 - 3 - 5.	エンベデッドオーディオ設定	33
1 2 - 3 - 5 - 1.	自動プリセット切替制御	33
1 2 - 3 - 5 - 2.	音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他 プリセット設定	33
1 2 - 3 - 5 - 3.	エンベ入力 CH01~CH32 ゲイン調整(*0.1dB).....	33
1 2 - 3 - 5 - 4.	外部出力 CH01~CH16 ゲイン調整(*0.1dB).....	33
1 2 - 3 - 6.	テストトーン設定	33
1 2 - 3 - 6 - 1.	テストトーン 1、2 振幅(dBFS)	33
1 2 - 3 - 6 - 2.	テストトーン 1、2 周波数	33
1 2 - 3 - 7.	リマップ設定.....	34
1 2 - 3 - 7 - 1.	リマップ出力 CH01~CH16 選択.....	34
1 2 - 3 - 8.	ダウンミックス設定	35
1 2 - 3 - 8 - 1.	ダウンミックス CH01~CH32 ソース選択.....	36
1 2 - 3 - 8 - 2.	ダウンミックス CH01~CH32 Lch 演算係数.....	36
1 2 - 3 - 8 - 3.	ダウンミックス CH01~CH32 Rch 演算係数	36
1 2 - 3 - 8 - 4.	ダウンミックス CH01~CH32 Lch 符号	36
1 2 - 3 - 8 - 5.	ダウンミックス CH01~CH32 Rch 符号	36
1 2 - 3 - 9.	音声ミックス設定	36
1 2 - 3 - 9 - 1.	音声ミックス 1 CH01 ソース選択~音声ミックス 1 CH04 ソース選択.....	36
1 2 - 3 - 9 - 2.	音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)~音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB).....	37
1 2 - 4.	再起動設定	37
1 2 - 4 - 1.	再起動を許可.....	37
1 2 - 4 - 2.	コントローラーの再起動	37
1 2 - 5.	ログ設定.....	37
1 2 - 5 - 1.	ログ件数	37
1 2 - 5 - 2.	ログ更新時刻	37
1 2 - 5 - 3.	SD カード状態	37
1 2 - 5 - 4.	ログファイル初期化	37
1 2 - 5 - 5.	ログ取得	38
1 2 - 6.	製品情報	38
1 2 - 6 - 1.	製品名.....	38
1 2 - 6 - 2.	製品概要.....	38
1 2 - 6 - 3.	Version(Firmware), Version(Hardware).....	38

1 2 - 6 - 4. 占有スロット数.....	38
1 2 - 6 - 5. 別名	38
1 2 - 6 - 6. シリアル番号.....	38
1 3. コネクター ピンアサイン	39
1 4. 定格および電気的特性	40
1 5. お問い合わせ	42

1. 概要

- DMX5212-12G-8D は C5000 モジュールシステムに搭載可能な 12G-SDI/6G-SDI/3G-SDI/HD-SDI 信号に重畳されているエンベデッド・オーディオを、AES/EBU 8 系統 16ch にデマルチプレクスするモジュールです。DMX5212-12G-8A は、アナログ・オーディオ 8ch、及び AES/EBU 2 系統 4ch にデマルチプレクスします。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

DMX5212-12G-8D/-8A は本体と付属品で構成されています。

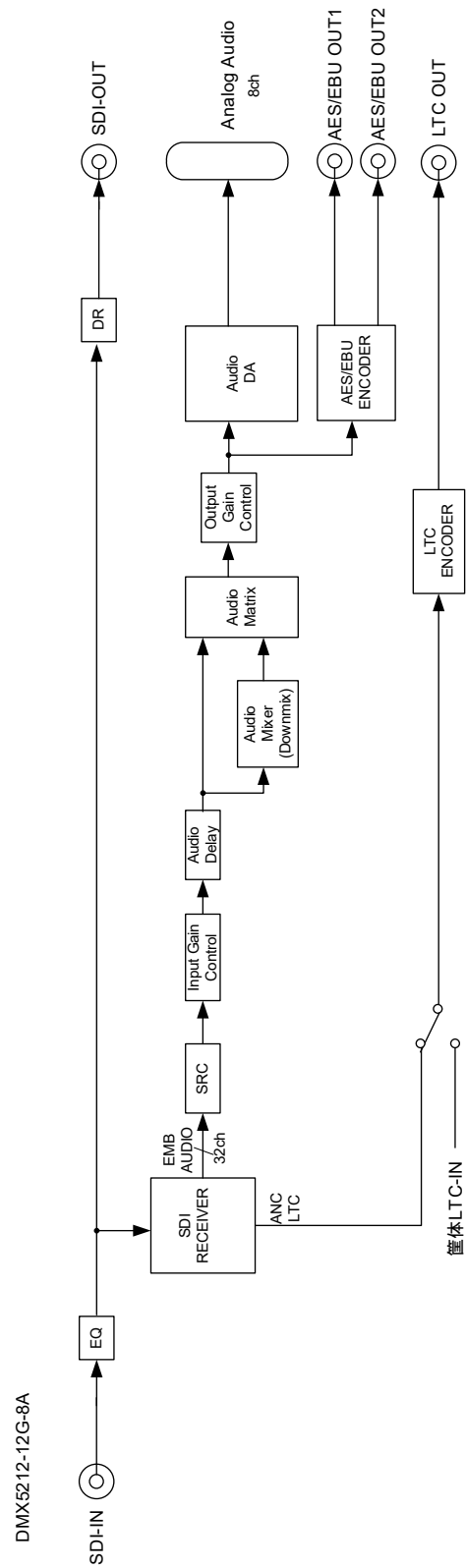
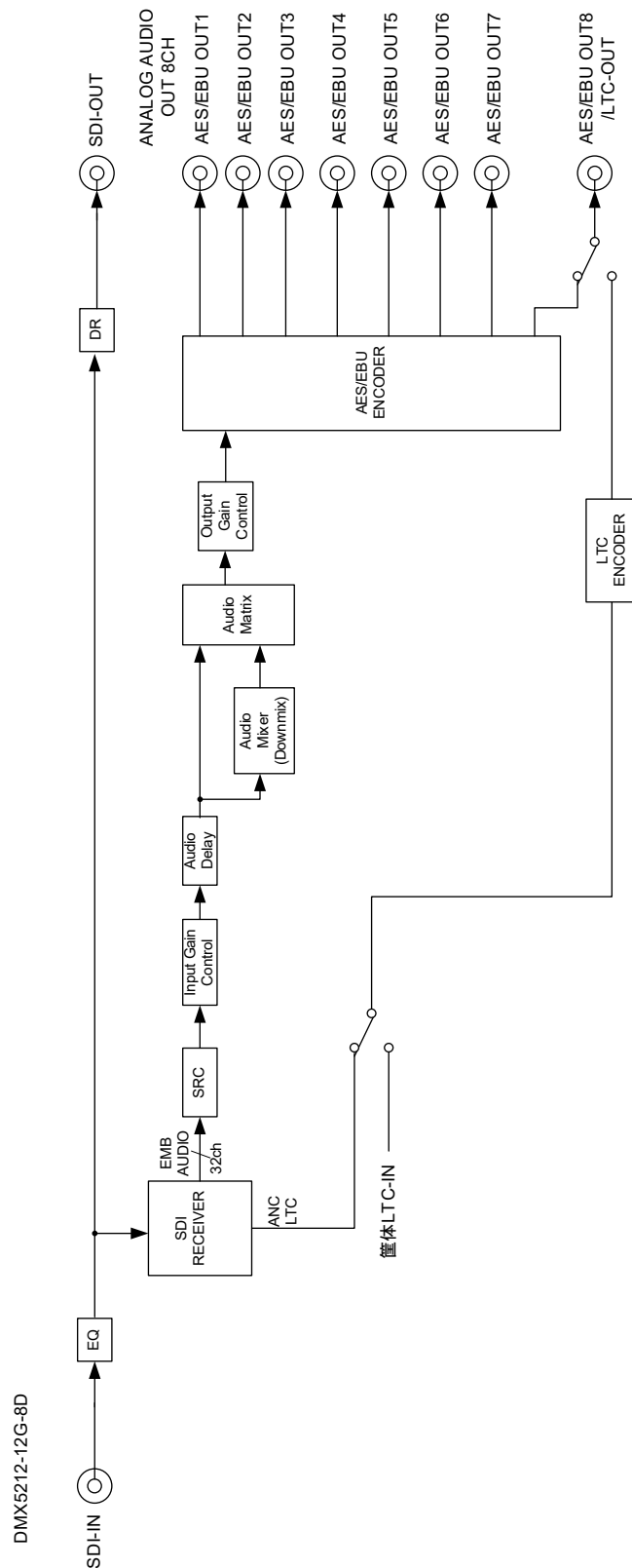
下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品 名	型 名	数 量	備 考
12G-SDI 対応 オーディオ・デマルチプレクス・モジュール	DMX5212-12G-8D 又は DMX5212-12G-8A	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

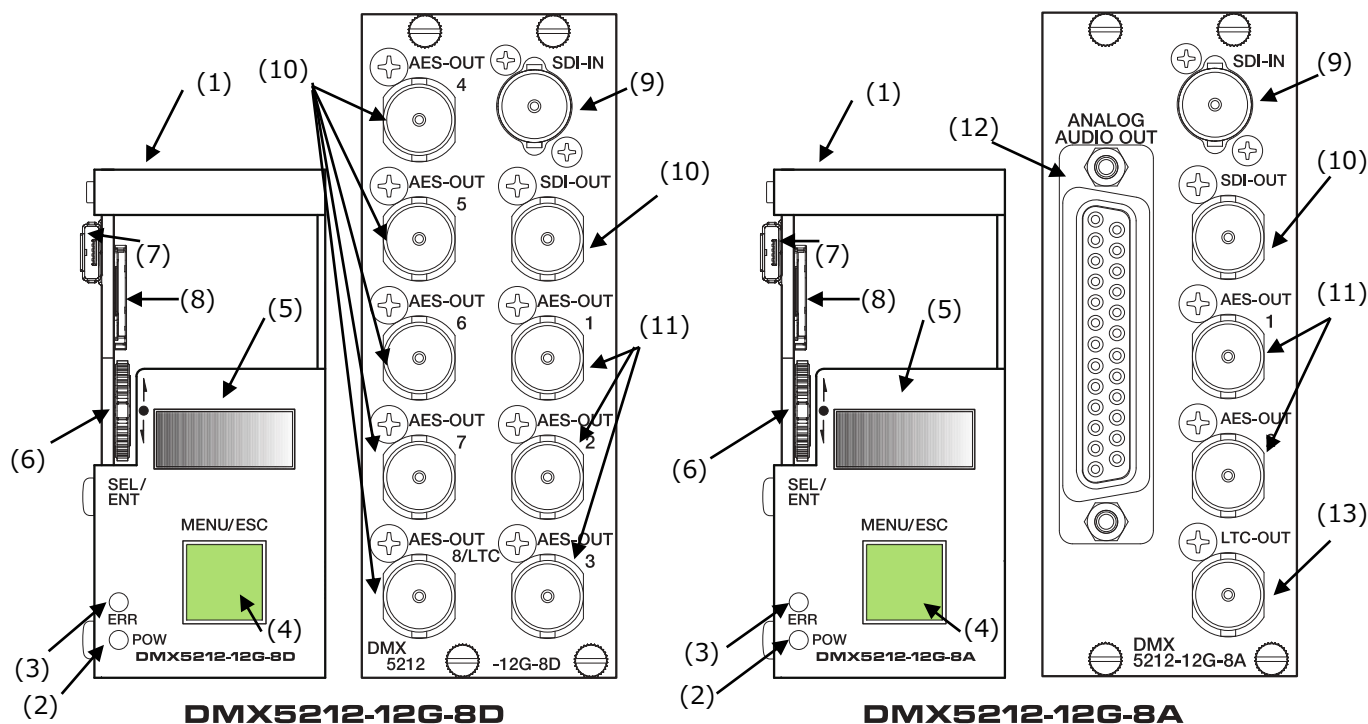
- ・12G(TYPE1)/6G(TYPE2)/ 3 G(レベル A/B)/HD-SDI に対応し、入力フォーマットを OLED に表示します。SDI がアンロックの場合は、OLED に UNLOCK と表示し、エラー LED が点灯します。
- ・エンベデッド・オーディオが重畳されているグループと、入力されているタイムコードを OLED に表示します。
- ・選択している LTC 又はアンシラリー・タイムコードにエラーがあった場合、OLED にエラー表示し、エラー LED が点灯します。表示例は、5-1. フロント、リア入出力及び LED、OLED 表示を参照してください。
- ・エンベデッド・オーディオ 32ch に対応します。(SD/HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで、6G-SDI, 12G-SDI は SUB1:16ch,SUB2:16ch のトータル 32ch まで対応します。)
- ・筐体 LTC-IN に入力されたタイムコード又は、アンシラリー・タイムコードを、LTC 出力できます。DMX5212-12G-8D では、AES/EBU OUT8 が LTC OUT と共用されていますので設定により切り替えて出力することができます。
- ・リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス機能を装備しています。
- ・ゲイン調整は、-50.0dB～+50.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。
- ・任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- ・デジタル・オーディオ、アナログ・オーディオの基準レベルは設定スイッチで切り替えることができます。
- ・音声遅延を 0ms～2sec まで 1ms ステップで付加することが可能です。
- ・12 個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードによりプリセットの自動切り替えが可能です。
- ・パラメーターの設定はメニュー又は、SNMP、WEB より設定できます。
- ・SNMP に対応します。

4. ブロック図



5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及びLED、OLED 表示



(1) フロントモジュール引き出し取っ手

(2) 電源ランプ POW 電源投入時 緑点灯

(3) エラー ERR LED エラー無し時消灯、エラー時 赤点灯

SDI アンロック、LTC エラーが 1 つでもあった場合にエラーLED が赤点灯します。

(4) メニュー／エスケープスイッチ

通常モードでは、メニューモードへの遷移に使用し、メニューモードではメニューのキャンセル処理、又はメニューの上位階層への遷移に使用します。

(5) OLED 表示器

通常状態では、システムフォーマット、入力されている音声グループ、タイムコード、エラー内容(LTC)を表示し、メニューモードでは各種設定内容を表示します。

SDI 2160P59
GRP 1234____
01:05:21

GRP 1234____
01:05:21
LTC NO ERR

GRP 12345678
01:23:50
LTC ERR

SDI UNLOCK
GRP_____
02:18:05

メニュー選択スイッチを上下に動かす事により、ステータス画面をスクロールすることができます。又、一定時間経過するとステータス画面は自動スクロールします。

(6) メニュー選択スイッチ

上下に動かすことによりメニュー移動をし、押すことによりメニュー選択、パラメーター選択の決定を行います。

(7) Micro USB (メンテナンス用)

(8) マイクロ SDCARD

ログを保存します。

(9) SDI 入力 SDI-IN

(10) SDI 出力 SDI-OUT

SDI-IN のリクロック信号が出力されます。

(11) AES/EBU 出力 AES-OUT1~8(DMX5212-12G-8D), AES-OUT1,2(DMX5212-12G-8A),

デマルチプレクスしたエンベデッド・オーディオを出力する AES/EBU 出力です。DMX5212-12G-8D は 8 系統 16 チャンネル、DMX5212-12G-8A は 2 系統 4 チャンネルの出力を装備します。DMX5212-12G-8D の AES-OUT8 には、設定により LTC を出力することができます。

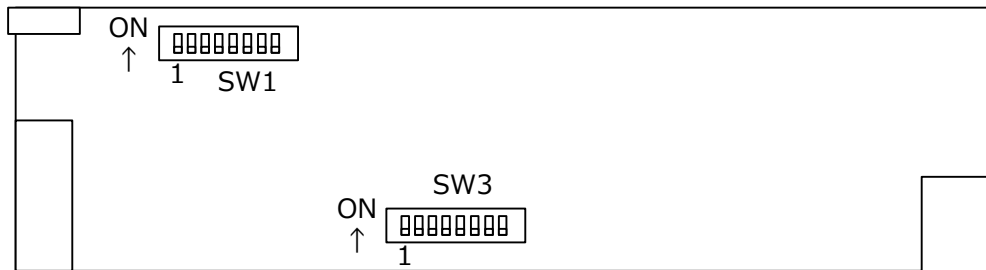
(12) アナログ・オーディオ出力 ANALOG AUDIO OUT (DMX5212-12G-8A のみ)

デマルチプレクスしたエンベデッド・オーディオを出力するアナログ・バランス・オーディオ 8 チャンネル出力です。

(13) LTC 出力 LTC-OUT (DMX5212-12G-8A のみ)

デマルチプレクスした LTC を出力します。

5 - 2. フロントモジュール設定



SW1 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

SW3 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1	アナログ音声基準レベル OFF=4dBm、ON=0dBm
2	デジタル音声基準レベル OFF=-20dBFS, ON=-18dBFS
3-8	Reserved

6. フレームの取付方法

6-1 リアモジュールを取り付けます。

6-2 “2 スロット”以上の空きを確認して実装します。

6-3 リアモジュールをスロットに挿入してリアモジュール固定ネジを 4ヶ所ネジ止めします。

6-4 フロントモジュールを挿入します。

6-5 リアモジュールのスロット番号を確認して若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。(スロット 9,10 の場合、スロット 9 に挿入)

7. 基本操作

- 1) 電源投入直後、及びメニューモードから通常モードに遷移したときに、モデル名、S/W,H/W バージョンを表示します。

DMX5212-12G-8D
 S/W: V1.0.0
 H/W: V1.0.0

- 2) 一定時間経過後、システムフォーマット、入力されている音声グループ、タイムコード、エラー内容(LTC)のステータス表示となります。
 ステータス表示は、画面スクロールし表示します。

SDI 2160P59
 GRP 1234____
 01:05:21

GRP 1234____
 01:05:21
 LTC NO ERR

GRP 12345678
 01:23:50
 LTC ERR

SDI UNLOCK
 GRP_____
 02:18:05

エラーステータスは、以下の通りです。

SDI UNLOCK : 入力 SDI がアンロック状態であるとき。正常時は入力フォーマットを表示します。

LTC ERR : TC が LTC 入力に設定されているときに LTC がアンロック状態であるとき、又は
 TC が ATC 入力に設定されているとき ATC が未検出状態であるとき

これらのエラーが 1 つでも発生した場合、フロントのエラーLED が赤点灯します。

- 3) この通常モードでフロントパネルのメニュースイッチを 1 秒間長押しするとメニューモードに遷移します。
- 4) メニューモードではメニュー選択スイッチを上下に動かすことによりメニューを遷移し、メニュー選択スイッチを押すことにより下位メニューに遷移、又は設定値の決定を行います。
- 5) メニューモードではメニュースイッチを押すことによりメニュー上位階層に遷移し、最後に 1)の状態の通常モードに戻ります。また、メニューモードで 1 分間スイッチ操作がないと、自動的に通常モードに戻ります。

8. エンベデッド音声チャンネルについて

入力 SDI 信号にエンベデットされたオーディオ信号は、サブイメージ 1 (3G レベル A、3G レベル B のリンク A、6G、12G の SUB1) に G1～G8 までエンベデットされていた場合は、サブイメージ 1 の 32 チャンネルを入力エンベデット・オーディオとして扱います。サブイメージ 1 に G5～G8 のエンベデット・オーディオが含まれていない場合は、サブイメージ 1 の G1～G4 を入力 CH01～CH16 とし、サブイメージ 2(3G レベル B のリンク B、6G、12G の SUB2)の G1～G4 を入力グループ G5～G8 として CH17～CH32 として扱います。

9. メニュー構成

[]内はデフォルト値

MENU

- COMMON SETTING : プリセット間共通の設定を行います。
 - TC SETTING : TC関係の設定メニューです
 - TC SEL [INT] : 内蔵TCの動作を設定します。
 - OFFSET EN [OFF] : TC SEL=LTC/ATC時のオフセットの設定をします。
 - OFFSET HH [0] : オフセット値の時間を設定します。
 - OFFSET MM [0] : オフセット値の分を設定します。
 - OFFSET SS [0] : オフセット値の秒を設定します。
 - OFFSET FR [2] : オフセット値のフレームを設定します。
 - INIT HH [0] : TC SEL=INT時の初期値の時間を設定します。
 - INIT MM [0] : TC SEL=INT時の初期値の分を設定します。
 - INIT SS [0] : TC SEL=INT時の初期値の秒を設定します。
 - INIT FR [0] : TC SEL=INT時の初期値のフレームを設定します。
 - INIT BG1 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ1を設定します。
 - INIT BG2 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ2を設定します。
 - INIT BG3 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ3を設定します。
 - INIT BG4 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ4を設定します。
 - INIT BG5 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ5を設定します。
 - INIT BG6 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ6を設定します。
 - INIT BG7 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ7を設定します。
 - INIT BG8 [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ8を設定します。
 - INIT BGF [0] : TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループフラグを設定します。
 - FR LOAD EN [OFF] : TC SEL=INT時のフレーム値のロードを設定します。
 - DROP FR EN [ON] : TC SEL=INT時のドロップフレームの設定をします。
 - LOST ACTION [AUTO RUN] : TC SEL=LTC/ATC時の入力ロス時の動作を設定します。
 - INIT LOAD [ON] : TC SEL=INT時の初期値のロードを設定します。
 - INT RUN [ON] : 自走タイムコードの動作を制御します。
 - OUT LTC EN [OFF] : LTCの出力を設定します。
 - AMODE PRECHG : 局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替動作の設定をします。
 - AUTO EN [OFF] : 音声モードによる自動プリセット切替を設定します。
 - 1M PRESET [P1] : 音声モード1M時のプリセット番号を設定します。
 - 2M PRESET [P1] : 音声モード2M時のプリセット番号を設定します。
 - 3M PRESET [P1] : 音声モード3M時のプリセット番号を設定します。
 - 4M PRESET [P1] : 音声モード4M時のプリセット番号を設定します。
 - 1S PRESET [P1] : 音声モード1S時のプリセット番号を設定します。
 - 2S PRESET [P1] : 音声モード2S時のプリセット番号を設定します。
 - 1S+2M PRESET [P1] : 音声モード1S+2M時のプリセット番号を設定します。
 - 5.1 PRESET [P1] : 音声モード5.1時のプリセット番号を設定します。
 - 5.1+S PRESET [P1] : 音声モード5.1+S時のプリセット番号を設定します。
 - OTHER PRESET [P1] : 音声モードその他の時のプリセット番号を設定します。
- PRESET SETTING : プリセットに保存されるパラメータを設定します
 - LOAD PRESET [P1] : プリセットのロードを行います。
 - SAVE PRESET [P1] : プリセットのセーブを行います。
 - AUDIO GAIN : オーディオのゲインを設定します。
 - EMB01IN GAIN [0.0dB] : インベット入力CH01のゲインを設定します。
 - :
 - EMB32IN GAIN [0.0dB] : インベット入力CH32のゲインを設定します。
 - EXT01OUT GAIN [0.0dB] : 外部出力CH01のゲインを設定します。
 - :
 - EXT16OUT GAIN [0.0dB] : 外部出力CH16のゲインを設定します。

DMX5112-12G-8AはCH08までです。

MENUつづき

- TEST TONE :テストトーンの設定をします。
 - TT1 AMP [-20dBFS] : テストトーン1の出力レベルを設定します。
 - TT2 AMP [-20dBFS] : テストトーン2の出力レベルを設定します。
 - TT1 FREQ [1000Hz] : テストトーン1の周波数を設定します。
 - TT2 FREQ [800Hz] : テストトーン2の周波数を設定します。
- REMAP : 出力エンベデッド・オーディオのリマップを行います。
 - REMAP CH01 [EMB01] :出力CH01へのオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - REMAP CH16 [EMB16] :出力CH16へのオーディオ信号の割り当てを行います。
DMX5112-12G-8AはCH08までです。
- DOWNMIX : ダウンミックスの設定を行います。
 - SSEL CH01 [EMB01] :ダウンミックス演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - SSEL CH32 [EMB32] :ダウンミックス演算するCH32のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - LCOEF CH01 [0] :ダウンミックスLchを演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - LCOEF CH32 [0] :ダウンミックスLchを演算するCH32の係数を設定します。
 - RCOEF CH01 [0] :ダウンミックスRchを演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - RCOEF CH32 [0] :ダウンミックスRchを演算するCH32の係数を設定します。
 - LSIGN CH01 [+1.0] :ダウンミックスLchを演算するCH01の符号を設定します。
 - :
 - LSIGN CH32 [+1.0] :ダウンミックスLchを演算するCH32の符号を設定します。
 - RSIGN CH01 [+1.0] :ダウンミックスRchを演算するCH01の符号を設定します。
 - :
 - RSIGN CH32 [+1.0] :ダウンミックスRchを演算するCH32の符号を設定します。
- MIX : 任意MIXの設定を行います。
 - MIX1 SSEL CH01 [MUTE] :任意MIX1の演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - MIX1 SSEL CH04 [MUTE] :任意MIX1の演算するCH04のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - MIX1 COEF CH01 [0] :任意MIX1の演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - MIX1 COEF CH04 [0] :任意MIX1の演算するCH04の係数を設定します。
 - :
 - MIX8 SSEL CH01 [MUTE] :任意MIX8の演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - MIX8 SSEL CH04 [MUTE] :任意MIX8の演算するCH04のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - MIX8 COEF CH01 [0] :任意MIX8の演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - MIX8 COEF CH04 [0] :任意MIX8の演算するCH04の係数を設定します。
- AUDIO DELAY [0ms] : オーディオの遅延量を設定します。
- RETURN DEFAULT [NO] : 現在の設定をデフォルトに戻します。プリセットは初期化しません。
- FACTORY RESET [NO] : プリセットの設定を含め工場出荷時の設定に戻します。

1 0 . メニュー説明

1 0 – 1 . COMMON SETTING:TC SETTING:TC SEL

内蔵 TC の動作を設定します。

INT : 自走でタイムコードを生成します。

LTC : フレームに入力されたLTC信号に同期しタイムコードを生成します。

ATC : SDI入力にエンベデットされたアンシラリータイムコード(ATC)に同期しタイムコードを生成します。

1 0 – 2 . COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET EN

TC SEL=LTC/ATC 時のオフセットを設定します。

OFF : オフセットしません。

ON : OFFSET_HH~OFFSET_FRの値でオフセットします。

1 0 – 3 . COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET HH

オフセット値の時間を設定します。設定できる範囲は 0~23 です。

1 0 – 4 . COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET MM

オフセット値の分を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 5 . COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET SS

オフセット値の秒を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 6 . COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET FR

オフセット値のフレームを設定します。設定できる範囲は 0~29 です。

1 0 – 7 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT HH

TC SEL=INT 時の初期値の時間を設定します。設定できる範囲は 0~23 です。

1 0 – 8 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT MM

TC SEL=INT 時の初期値の分を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 9 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT SS

TC SEL=INT 時の初期値の秒を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 1 0 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT FR

TC SEL=INT 時の初期値のフレームを設定します。設定できる範囲は 0~29 です。

1 0 – 1 1 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BG1~INIT BG 8

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ 1 ~グループ 8 を設定します。設定できる範囲は 0~15 です。

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ 8 を設定します。設定できる範囲は 0~15 です。

1 0 – 1 2 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BGF

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ・フラグを設定します。設定できる範囲は 0~7 です。

1 0 – 1 3 . COMMON SETTING:TC SETTING:FR LOAD EN

TC SEL=INT 時の初期値のロード時にフレーム値をロードするか、しないかを設定します。

OFF : フレーム値をロードしません。フレーム値はカレントの値が継続されます。

ON : フレーム値INIT FRをロードします。

1 0 – 1 4 . COMMON SETTING:TC SETTING:DROP FR EN

TC SEL=INT 時のドロップフレーム動作を設定します。

OFF : ノン・ドロップフレームで動作します。

ON : ドロップフレームで動作します。

1 0 - 1 5 . COMMON SETTING:TC SETTING:LOST ACTION

TC SEL=LTC/ATC 時に、入力 LTC 又は ATC がアンロックとなった場合の動作を指定します。

AUTO RUN : カウント動作を継続します。

STOP : カウント動作を停止します。

1 0 - 1 6 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT LOAD

TC SEL=INT 時に、初期値をロードします。

OFF : 初期値をロードしません。

ON : 初期値をロードします。

1 0 - 1 7 . COMMON SETTING:TC SETTING:INT RUN

自走タイムコード動作を制御します。

OFF : 自走タイムコードを停止します。

ON : 自走タイムコードが動作します。

1 0 - 1 8 . COMMON SETTING:TC SETTING:OUT LTC EN

LTC 出力を制御します。

OFF : LTCを出力しません。

ON : LTCを出力します。

1 0 - 1 9 . COMMON SETTING:AMODE PRECHG:AUTO EN

局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替を設定します。

OFF : 音声モードによる自動プリセット切替を行いません。

ON : 音声モードによる自動プリセット切替を行います。

1 0 - 2 0 . COMMON SETTING:AMODE PRECHG: 1 M PRESET~OTHER PRESET

音声モード 1 M~4M、1S,2S,1S+2M,5.1,5.1+S、その他時のプリセット番号を設定します。P1~P12 のプリセット番号を指定します。

1 0 - 2 1 . PRESET SETTING:LOAD PRESET

プリセットをロードします。プリセット番号 P1~P12 を指定します。

1 0 - 2 2 . PRESET SETTING:SAVE PRESET

プリセットをセーブします。プリセット番号 P1~P12 を指定します。

1 0 - 2 3 . PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01IN GAIN~EMB32IN GAIN

エンベデット・オーディオ入力 CH01~CH32 のゲイン値を設定します。設定範囲は-50.0~+50.0dB までで、0.1dB 単位で設定できます。

1 0 - 2 4 . PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EXT01OUT GAIN~EXT16OUT GAIN

外部音声出力 CH01~CH16 のゲイン値を設定します。設定範囲は-50.0~+50.0dB までで、0.1dB 単位で設定できます。
DMX5212-12G-8A は CH08 までとなります。

1 0 - 2 5 . PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 AMP,TT2 AMP

テストトーン 1,2 の出力レベルを設定します。設定範囲は-63~0dBFS までで、1dBFS 単位で設定できます。

1 0 - 2 6 . PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 FREQ,TT2 FREQ

テストトーン 1,2 の周波数を設定します。設定できる周波数は 400Hz,800Hz,1000Hz,2000Hz です。

1 0 - 2 7 . PRESET SETTING:REMAP:REMAP CH01～REMAP CH16

外部音声出力 CH01～CH16 のオーディオ信号の割り当てを設定します。DMX5212-12G-8A は CH08 までとなります。

EMB01～EMB32 : インベデット・オーディオ入力CH01～CH32。

TT1,TT2 : テストトーン1,2。

DMX_L,DMX_R : ダウンミックス音声。

MIX1～MIX8 : 任意MIX音声1～8。

MUTE : 無音。

1 0 - 2 8 . PRESET SETTING:DOWNMIX:SSEL CH01～SSEL CH32

ダウンミックス演算する CH01～CH32 のオーディオ信号の割り当てを設定します。

EMB01～EMB32 : インベデット・オーディオ入力CH01～CH32。

TT1,TT2 : テストトーン1,2。

MUTE : 無音。

1 0 - 2 9 . PRESET SETTING:DOWNMIX:LCOEF CH01～LCOEF CH32

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。

1 0 - 3 0 . PRESET SETTING:DOWNMIX:RCOEF CH01～RCOEF CH32

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。

1 0 - 3 1 . PRESET SETTING:DOWNMIX:LSIGN CH01～LSIGN CH32

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。+1.0 又は-1.0 を指定します。

1 0 - 3 2 . PRESET SETTING:DOWNMIX:RSIGN CH01～RSIGN CH32

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。+1.0 又は-1.0 を指定します。

1 0 - 3 3 . PRESET SETTING:MIX:MIX1 SSEL CH01～MIX1 SSEL CH04

任意 MIX1 を演算する CH01～CH04 のオーディオ信号の割り当てを設定します。MIX2～MIX8 も同様です。

EMB01～EMB32 : インベデット・オーディオ入力CH01～CH32。

TT1,TT2 : テストトーン1,2。

MUTE : 無音。

1 0 - 3 4 . PRESET SETTING:MIX:MIX1 COEF CH01～MIX1 COEF CH04

任意 MIX1 を演算する CH01～CH04 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。MIX2～MIX8 も同様です。

1 0 - 3 5 . PRESET SETTING:AUDIO DELAY

オーディオの遅延量を設定します。設定範囲は 0～2000ms で、1ms 単位で設定できます。

1 0 - 3 6 . RETURN FEFAULT

現在の設定をデフォルトに戻します。プリセットの初期化は行いません。

1 0 - 3 7 . FACTORY RESET

プリセットの設定を含め工場出荷時の設定に戻します。

1 1 . SNMP

DMX5212-12G-8D/-8A は SNMP による監視が可能です。

DMX5212-12G-8Dは[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.45.], DMX5212-12G-8Aは[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.46.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1～20、C5001 では 1～6 となります。

Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。Trap 項目の○は、Get 項目の値が Trap に付加されるオブジェクトであることを示しています。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	<i>DMX5212-12G-8D:45</i> <i>DMX5212-12G-8A:46</i>	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	<i>DMX5212-12G-8D : 2 slot</i> <i>Digital Audio (8 AES/EBU)</i> <i>Demultiplexer Module</i> <i>DMX5212-12G-8A : 2 slot</i> <i>Analog Audio (8 Analog)</i> <i>Demultiplexer Module</i>	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	2	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エリアス名	–	
SerialNo 10.1.16.index	OCTET STRING	R/W	16	シリアルナンバー	XXX-YY-ZZ	
OutLtcEn 20.1.120.index	INTEGER	R/W	4	LTC 出力を制御	<i>off=1</i> , on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	<i>int=1</i> , ltc=2, in1Atc=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	<i>off=1</i> , on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	0 ～23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	0 ～59	
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0 ～59	
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0～ 2 ～29	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	autoRun=1 , stop=2, noPacket=3	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	0 ~23	
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	0 ~59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	0 ~59	
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0 ~29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	0 ~15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	0 ~15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	0 ~15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0 ~15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	0 ~15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	0 ~15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	0 ~15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	0 ~15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0 ~7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム 値ロード設定	off=1 , on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効/無効 (自走時のみ有効)	off=1, on=2	
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設定	off=1, on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	off=1, on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセット切替制御	off=1 , on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリセット	p01=1 ～p12=12	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1～p12=12, non=13	
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1～p12=12, non=13	
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index : CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500～ 0 ～500	
CurrentExt01OutGain 20.1.382.index : CurrentExt16OutGain 20.1.397.index	INTEGER	R/W	4	外部出力(AES/ANA)CH のゲイン調整 (x10dB を設定) DMX5212-12G-8A は CurrentExt08OutGain まで	-500～ 0 ～500	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dBFS)	-63~-20~0	
CurrentTT2Amp 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dBFS)	-63~-20~0	
CurrentTT1Freq 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, f1kHz=3 , f2kHz=4	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2 , f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index : CurrentRemapCh16 20.1.425.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択 (外部 出力) DMX5212-12G-8A は CurrentRemapCh08 まで	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~mix8=60, non=64 (初期値 Ch01~16=emb01~ emb16)	
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index : CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソー ス選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64 (初期値 Ch01~32=emb01~ emb32)	
CurrentDmxLCoefCh01 20.1.532.index : CurrentDmxLCoefCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxRCoefCh01 20.1.564.index : CurrentDmxRCoefCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index : CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	plus=1 , minus=2	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index : CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	plus=1 , minus=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index : CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index : CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix2SSelCh01 20.1.708.index : CurrentMix2SSelCh04 20.1.711.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix2CoefCh01 20.1.712.index : CurrentMix2CoefCh04 20.1.715.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix3SSelCh01 20.1.716.index : CurrentMix3SSelCh04 20.1.719.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH ソース選 択	Emb01=1~Emb32=32, TT1=49, TT2=50, Non=64	
CurrentMix3CoefCh01 20.1.720.index : CurrentMix3CoefCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.724.index : CurrentMix4SSelCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix4CoefCh01 20.1.728.index : CurrentMix4CoefCh04 20.1.731.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix5SSelCh01 20.1.732.index : CurrentMix5SSelCh04 20.1.735.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix5CoefCh01 20.1.736.index : CurrentMix5CoefCh04 20.1.739.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix6SSelCh01 20.1.740.index : CurrentMix6SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix6CoefCh01 20.1.744.index : CurrentMix6CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix7SSelCh01 20.1.748.index : CurrentMix7SSelCh04 20.1.751.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.752.index : CurrentMix7CoefCh04 20.1.755.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix8SSelCh01 20.1.756.index : CurrentMix8SSelCh04 20.1.759.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix8CoefCh01 20.1.760.index : CurrentMix8CoefCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0 ~2000	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックアラ ームイネーブル	disable=1, enable=2	
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	Ltc アンロックアラームイ ネーブル	disable=1, enable=2	
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックトラッ プイネーブル	disable=1, enable=2	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックトラップイ ネーブル	disable=1, enable=2	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1 , yes=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	再起動を許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	再起動を実行	no=1 , yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0~10000	
LogUpdateTime 29.1.11.index	OCTET STRING	RO	4	最新ログ更新時間	YYYY-MM-DD HH:MM:SS	
LogSdState 29.1.20.index	INTEGER	RO	4	SD Card 状態	0=NoExist, 1=Mounting, 2=Reading, 3=Idle ※Webから行うLog取得はIdle 時のみ可能です。	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログのクリア	no=1 , yes=2	
In1 30.1.2.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unknown=1, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=23, f1080PSF23=24, f1080P60A=25, f1080P59A=26, f1080P50A=27, f1080P60B=28, f1080P59B=29, f1080P50B=30, f1080P30B=31, f1080P29B=32, f1080P25B=33, f1080P24B=34, f1080P23B=35, f1080PSF29B=37, f2160P30=47, f2160P29=48, f2160P25=49, f2160P24=50, f2160P23=51, f2160P60=57, f2160P59=58, f2160P50=59	
DigitalAudioReference Level 30.1.4.index	INTEGER	RO	4	デジタル・オーディオ・リフ アレンス・レベル	minus20dBFS=1, minus18dBFS=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AnalogAudioReference Level 30.1.5.index	INTEGER	RO	4	アナログ・オーディオ・リファレンス・レベル DMX5212-12G-8A のみ。	plus0dBm=1, plus4dBm=2	
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.10.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.12.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○

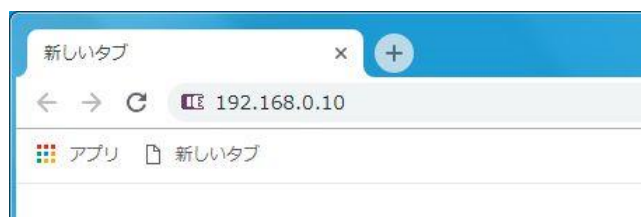
トラップオブジェクト識別子は、DMX5212-12G-8Dは[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.46.0.], DMX5212-12G-8Aは[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.46.0.]の後に、以下のオブジェクト識別子でトラップが発行されます。各トラップは、index(Slot 情報)を持つ SNMP 設定情報が添付されます。

Trap 番号	内容
TrapSDIIn1Lock 1	TrapEnSdiIn1Unlock=Enable の時、SDI In1 がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.10.index)
TrapLtcLock 3	TrapEnLtcUnlock=Enable の時、LTC がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.12.index)
TrapSDIIn1Unlock 11	TrapEnSdiIn1Unlock=Enable の時、SDI In1 がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.10.index)
TrapLtcUnlock 13	TrapEnLtcUnlock=Enable の時、LTC がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.12.index)

1 2 . WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

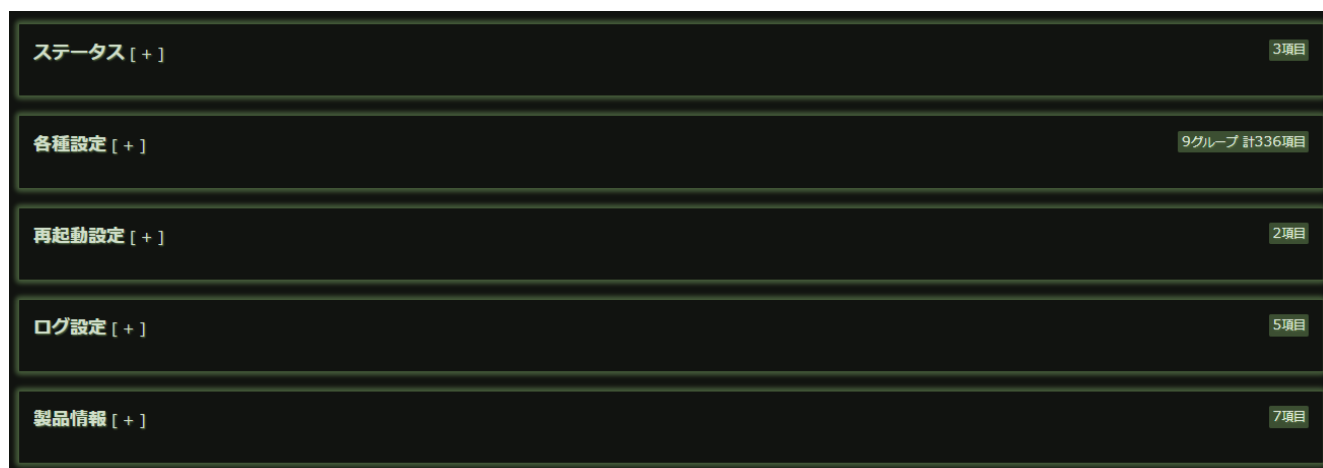
C5002-20/C5001-20 フレームの IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

1 2 – 1 . モジュール画面

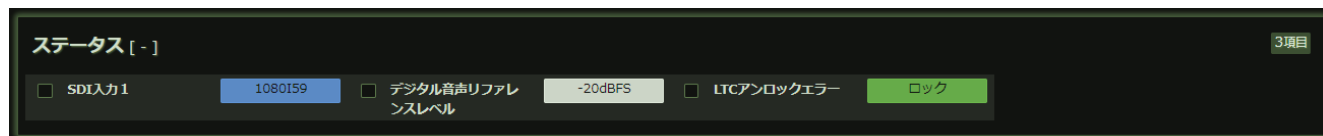
DMX5212-12G-8D 又は DMX5212-12G-8A が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。



ステータスは、各種モジュールの状態、各種設定は、モジュールに設定できる項目、再起動設定は、本モジュール基板の再起動、ログ設定は、ログに関する操作・設定、製品情報は、モジュール名、プログラムバージョン等の製品情報を表示します。‘+’マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。

1 2 – 2 . ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。（表示は、DMX5212-12G-8D の場合です）



1 2 – 2 – 1 . SDI 入力 1

SDI-IN に入力されている信号フォーマットを表示します。

アンロック /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B /1080P30B /1080P29B /1080P25B /1080P24B /1080P23B /1080PSF29B /2160P30 /2160P29 /2160P25 /2160P24 /2160P23 /2160P60 /2160P59 /2160P50 と表示されます。

1 2 - 2 - 2. デジタル音声リファレンスレベル (DMX5212-12G-8D)

デジタル音声のリファレンスレベルを、-20dBFS、-18dBFS から表示します。

1 2 - 2 - 3. アナログ音声のリファレンスレベル (DMX5212-12G-8A)

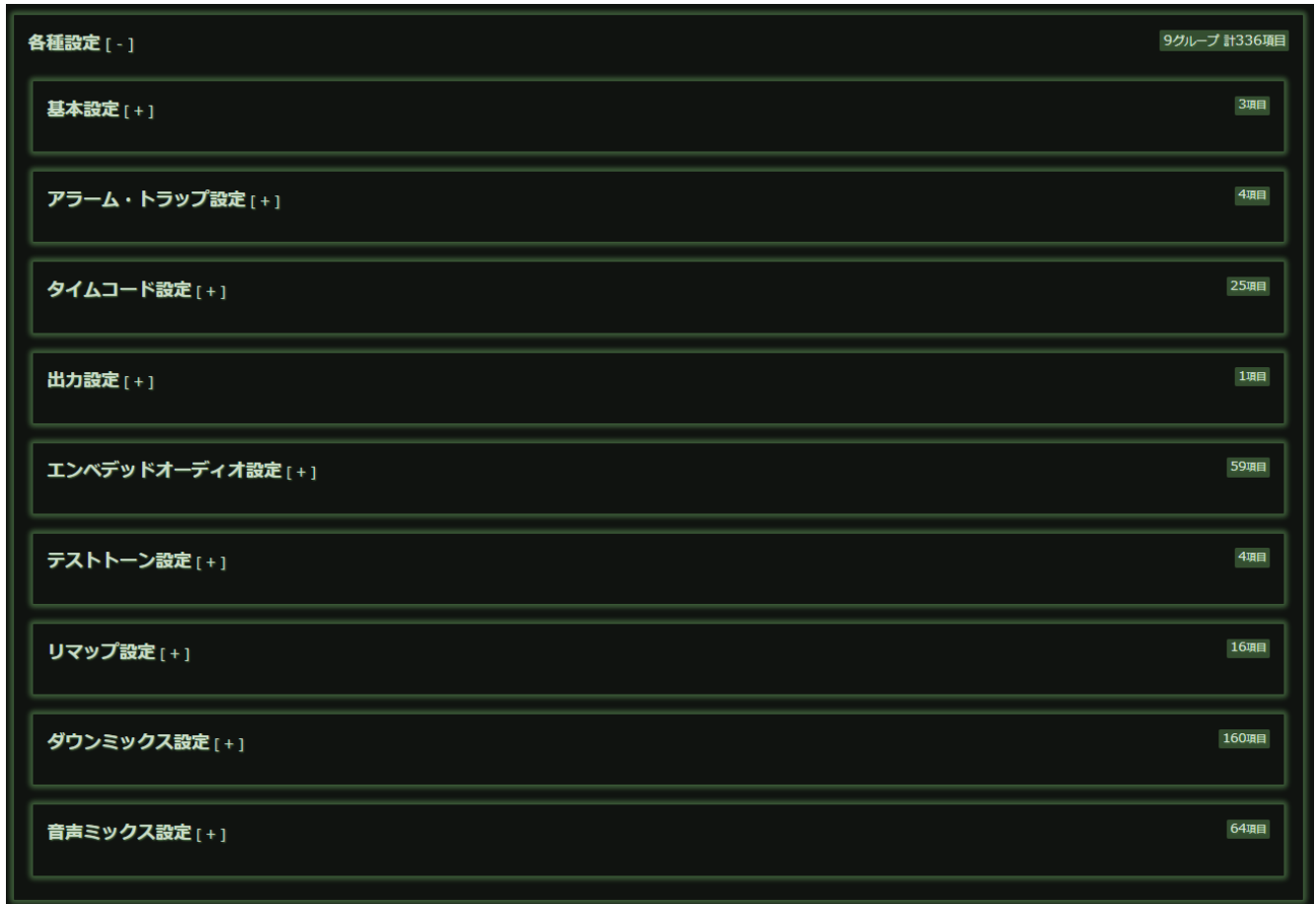
アナログ音声のリファレンスレベルを、0dBm、4dBm から表示します。

1 2 - 2 - 4. LTC アンロックエラー

LTC の状態を、ロック、アンロックから表示します。

1 2 - 3. 各種設定

各種設定には、モジュールに設定可能な項目が表示されます。



1 2 - 3 - 1. 基本設定



1 2 - 3 - 1 - 1. プリセットロード

プリセットをロードします。プリセット 1～12 を選択し、更新ボタンをクリックします。

1 2 - 3 - 1 - 2. プリセットセーブ

プリセットをセーブします。プリセット 1～12 を選択し、更新ボタンをクリックします。

1 2 - 3 - 1 - 3. 初期設定に戻す

初期化ボタンをクリックすると、各種設定を初期状態にします。

1 2 - 3 - 2. アラーム・トラップ設定



1 2 - 3 - 2 - 1. アラーム設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 2 - 2. アラーム設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

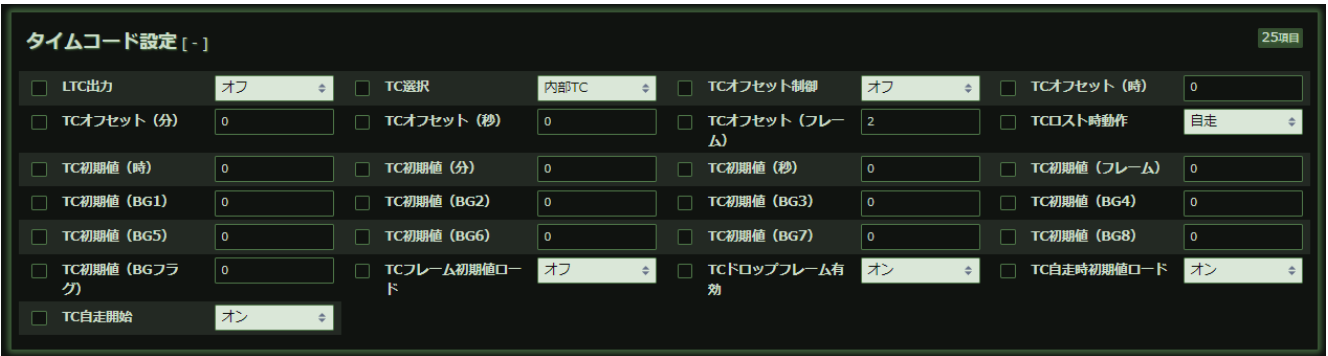
1 2 - 3 - 2 - 3. トラップ設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 2 - 4. トラップ設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 3. タイムコード設定



1 2 - 3 - 3 - 1. LTC 出力

LTC 出力をするかしないかを、オン、オフで設定します。

1 2 - 3 - 3 - 2. TC 選択

内蔵 TC の動作を設定します。

内部 TC : 自走でタイムコードを生成します。

フレーム入力 LTC : フレームに入力された LTC 信号に同期しタイムコードを生成します。

ATC : SDI 入力にエンベデットされたアンシラリータイムコード(ATC)に同期しタイムコードを生成します。

1 2 - 3 - 3 - 3. TC オフセット制御

TC 選択が、フレーム入力 LTC あるいは ATC の時にオフセットするかを設定します。

オフ : オフセットしません。

オン : TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)の値でオフセットします。

1 2 - 3 - 3 - 4. TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC オフセット値を、時(0~23)、分(0~59)、秒(0~59)、フレーム(0~29)で設定します。

1 2 - 3 - 3 - 5. TC ロスト時動作

TC 選択が、フレーム入力 LTC あるいは ATC 時に、入力 LTC あるいは ATC がアンロックとなった場合の動作を指定します。

自走 : 自走でカウント動作を継続します。

停止 : カウント動作を停止します。

1 2 - 3 - 3 - 6. TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC 選択が、内部 TC の時に初期値を、時(0~23)、分(0~59)、秒(0~59)、フレーム(0~29)で設定します。

1 2 - 3 - 3 - 7. TC 初期値(BG1)~(BG8)、(BG フラグ)

TC 選択が、内部 TC 時のバイナリーグループ 1 ~グループ 8 を設定します。設定できる範囲は 0~15 です。

また、バイナリーグループ・フラグ(BG フラグ)を設定します。設定できる範囲は 0~7 です。

1 2 - 3 - 3 - 8. TC フレーム初期値ロード

TC 選択が、内部 TC の時、初期値のロード時にフレーム値をロードするか、しないかを設定します。

オフ : フレーム値をロードしません。フレーム値はカレントの値が継続されます。

オン : TC 初期値(フレーム)をロードします。

1 2 - 3 - 3 - 9. TC ドロップフレーム有効

TC 選択が、内部 TC の時にドロップフレーム動作を設定します。

オフ : ノン・ドロップフレームで動作します。

オン : ドロップフレームで動作します。

1 2 - 3 - 3 - 10. TC 自走時初期値ロード

TC 選択が、内部 TC の時に初期値をロードするか、しないかを設定します。

オフ : 初期値をロードしません。

オン : 初期値をロードします。

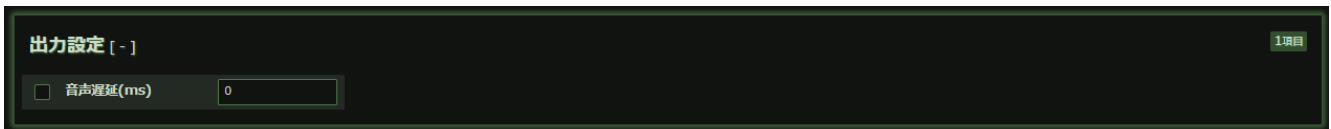
1 2 - 3 - 3 - 11. TC 自走開始

自走 TC の開始、停止を設定します。

オフ : 停止します。

オン : 開始します。

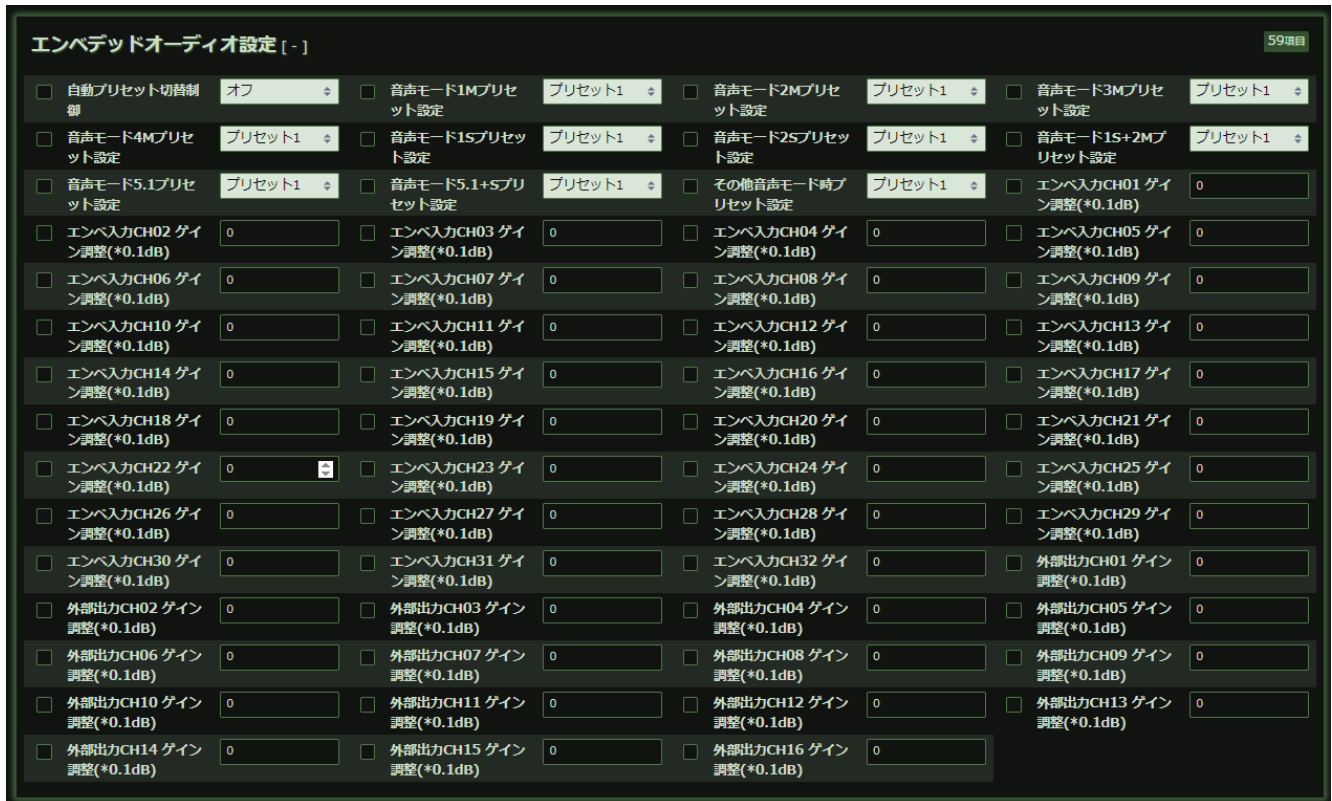
1 2 - 3 - 4. 出力設定



1 2 - 3 - 4 - 1. 音声遅延(ms)

オーディオの遅延量を設定します。設定範囲は 0~2000ms で、1ms 単位で設定できます。

1 2 - 3 - 5. エンベッドオーディオ設定



1 2 - 3 - 5 - 1. 自動プリセット切替制御

局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替を設定します。

- オフ : 音声モードによる自動プリセット切替を行いません。
- オン : 音声モードによる自動プリセット切替を行います。

1 2 - 3 - 5 - 2. 音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他 プリセット設定

音声モード 1M~4M、1S、2S、1S+2M、5.1、5.1+S、その他 のプリセット番号を設定します。プリセット 1~12 を選択します。

1 2 - 3 - 5 - 3. エンベ入力 CH01~CH32 ゲイン調整(*0.1dB)

エンベッド音声入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。

設定できる範囲は-500(-50.0dB)~500(+50.0dB)です。

1 2 - 3 - 5 - 4. 外部出力 CH01~CH16 ゲイン調整(*0.1dB)

外部音声出力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。

設定できる範囲は-500(-50.0dB)~500(+50.0dB)です。

1 2 - 3 - 6. テストトーン設定



1 2 - 3 - 6 - 1. テストトーン 1、2 振幅(dBFS)

テストトーン 1、2 の出力レベルを設定します。設定範囲は、-63~0dBFS までで、1dBFS 単位で設定できます。

1 2 - 3 - 6 - 2. テストトーン 1、2 周波数

テストトーン 1、2 の周波数を設定します。設定できる周波数は、400Hz、800Hz、1000Hz、2000Hz です

1 2 - 3 - 7. リマップ設定



リマップ出力CH01選択	EmbIn CH01	リマップ出力CH02選択	EmbIn CH02	リマップ出力CH03選択	EmbIn CH03	リマップ出力CH04選択	EmbIn CH04
リマップ出力CH05選択	EmbIn CH05	リマップ出力CH06選択	EmbIn CH06	リマップ出力CH07選択	EmbIn CH07	リマップ出力CH08選択	EmbIn CH08
リマップ出力CH09選択	EmbIn CH09	リマップ出力CH10選択	EmbIn CH10	リマップ出力CH11選択	EmbIn CH11	リマップ出力CH12選択	EmbIn CH12
リマップ出力CH13選択	EmbIn CH13	リマップ出力CH14選択	EmbIn CH14	リマップ出力CH15選択	EmbIn CH15	リマップ出力CH16選択	EmbIn CH16

1 2 - 3 - 7 - 1. リマップ出力 CH01～CH16 選択

エンベット・オーディオ出力 CH01～CH16 のオーディオ信号を割り当てます。

EmbIn CH01～CH32 : エンベット・オーディオ CH01～CH32

Test Tone1、2 : テストトーン 1、2

Downmix L、R : ダウンミックス音声

Mix1～8 : 任意 MIX 音声 1～8

Mute : 無音

[illegible]

1 2 - 3 - 8 - 1. ダウンミックス CH01～CH32 ソース選択

ダウンミックス演算する CH01～CH32 のオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32 : インベット・オーディオ CH01～CH32
 Test Tone1、2 : テストトーン 1、2
 Mute : 無音

1 2 - 3 - 8 - 2. ダウンミックス CH01～CH32 Lch 演算係数

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は、-12.6～0dB および 0 です。

1 2 - 3 - 8 - 3. ダウンミックス CH01～CH32 Rch 演算係数

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は、-12.6～0dB および 0 です。

1 2 - 3 - 8 - 4. ダウンミックス CH01～CH32 Lch 符号

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは -1 を指定します。

1 2 - 3 - 8 - 5. ダウンミックス CH01～CH32 Rch 符号

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは -1 を指定します。

1 2 - 3 - 9. 音声ミックス設定

音声ミックス設定 [-]

☐ 音声ミックス1 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス1 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH04 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス2 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス2 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH04 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス3 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス3 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH04 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス4 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス4 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH04 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス5 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス5 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH04 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス6 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス6 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH04 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス7 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス7 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH04 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス8 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス8 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH02 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH04 係数(*0.1dB)	-127

1 2 - 3 - 9 - 1. 音声ミックス 1 CH01 ソース選択～音声ミックス 1 CH04 ソース選択

音声ミックスするオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32 : インベット・オーディオ CH01～CH32
 Test Tone1、2 : テストトーン 1、2
 Mute : 無音

※音声ミックス 2～8 ソース選択 も同様です。

1 2 - 3 - 9 - 2. 音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)～音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB)

音声ミックスする際の係数を設定します。設定範囲は、-12.6～0dB および 0 です。

※音声ミックス 2～8 係数 も同様です。

1 2 - 4. 再起動設定



1 2 - 4 - 1. 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかを、いいえ あるいは、はい で設定します。

1 2 - 4 - 2. コントローラの再起動

再起動の許可が「はい」の状態、再起動をクリックすることによりコントローラが再起動されます。

1 2 - 5. ログ設定

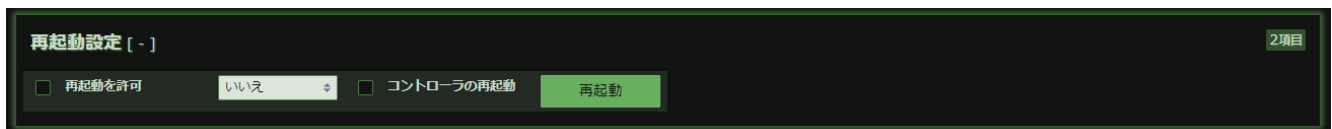
ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、本モジュール基板を再起動してください。ログの時刻は C5001/C5002 フレームのコントローラの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

1) ステータス

- ・SDI-IN 入力信号のフォーマットと変化時刻
- ・LTC 入力ロック/アンロックと変化時刻

2) 各種設定

全項目の設定値と変化時刻



1 2 - 5 - 1. ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

1 2 - 5 - 2. ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

1 2 - 5 - 3. SD カード状態

SD カードの状態を表示します。

SD カード無：SD カードがスロットに挿入されていない状態。

SD カード検出：SD カードを検出しました。

SD カード準備完了：SD カードの準備が完了しました。（R/W アクセスしていません。）

1 2 - 5 - 4. ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

1 2 - 5 - 5. ログ取得

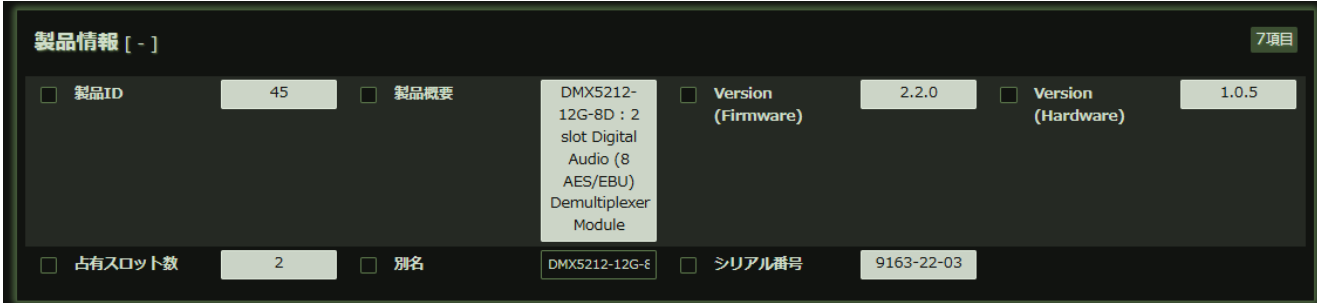
ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx	time	,slt	mode	, OID	, type	, val	Status Description
1	2024-05-02 14:44:32	5	Set	, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.45.29.900	, INT	, 2	
2	2024-05-02 14:44:39	5	Set	, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.45.28.910	, INT	, 2	
3	2024-05-02 14:44:40	5	Set	, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.45.28.911	, INT	, 2	
4	2024-05-02 14:44:47	5	System	Logging Start v2.0.4			
5	2024-05-02 14:44:48	5	Status	, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.45.30.2	, INT	, 13	SDI 1080I59
6	2024-05-02 14:44:48	5	Status	, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.45.30.12	, INT	, 1	LTC lock

1 2 - 6. 製品情報

製品情報には各種モジュールの製品情報が表示されます。



1 2 - 6 - 1. 製品名

モジュールの ID 番号です。DMX5212-12G-8D は 45、DMX5212-12G-8A は 46 です。

1 2 - 6 - 2. 製品概要

モジュールの機能概要です。

1 2 - 6 - 3. Version(Firmware), Version(Hardware)

DMX5212-12G-8D、8A に搭載されている CPU の Firmware バージョンと、FPGA の Hardware バージョンを表示します。

1 2 - 6 - 4. 占有スロット数

占有するスロット数を表示します。DMX5212-12G-8D、8A は 2 スロットです。

1 2 - 6 - 5. 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

1 2 - 6 - 6. シリアル番号

モジュールのシリアル番号です。工場出荷時に設定します。

1 3 . コネクター ピンアサイン

DMX5212-12G-8A – ANALOG AUDIO OUT (Dsub25 メス、嵌合台：インチネジ)

1	ANA_OUT8_H	10	ANA_OUT2_H	19	ANA_OUT5_S
2	ANA_OUT8_S	11	ANA_OUT2_S	20	ANA_OUT4_C
3	ANA_OUT7_C	12	ANA_OUT1_C	21	ANA_OUT3_H
4	ANA_OUT6_H	13	No Connection	22	ANA_OUT3_S
5	ANA_OUT6_S	14	ANA_OUT8_C	23	ANA_OUT2_C
6	ANA_OUT5_C	15	ANA_OUT7_H	24	ANA_OUT1_H
7	ANA_OUT4_H	16	ANA_OUT7_S	25	ANA_OUT1_S
8	ANA_OUT4_S	17	ANA_OUT6_C		
9	ANA_OUT3_C	18	ANA_OUT5_H		

H:Hot, C:Cold, S:GND

1 4 . 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	12G-SDI 2160/ 60p,59.94p, 50p(TYPE1) 6G-SDI 2160/ 30p, 29.97p, 25p, 24p, 23.98p (TYPE2) 3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) 29.97p, 29.97psf(レベル B-DS) *1 HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 24bit 同期音声のみ
	コネクタ	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット(映像)	SDI 入力と同じ
	コネクタ	BNCx2
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
AES/EBU 出力	対応フォーマット	48kHz sampling 24bit
	出力レベル、インピーダンス	1Vpp 75Ω
	コネクタ	DMX5212-12G-8D BNCx8 DMX5212-12G-8A BNCx2
ANALOG AUDIO 出力 DMX5212-12G-8A	基準入力レベル	0/+4dBm 600Ω平衡
	最大出力レベル	+24dBm
	コネクタ	Dsub25ピン(メス) (嵌合台インチ)
LTC 出力	コネクタ	DMX5212-12G-8D AES8 と共用 DMX5212-12G-8A BNCx1
	出力レベル、インピーダンス	2.0 Vp-p 75 Ω
リクロックアウト入出力遅延	HD-SDI	約 0.013us
	3G-SDI	約 0.007us
	6G-SDI	約 0.013us
	12G-SDI	約 0.013us
占有スロット数	2 スロット	
動作環境	0 °C ~ 40 °C 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	DMX5212-12G-8D	8.5 W
	DMX5212-12G-8A	13 W

外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	DMX5212-12G-8D	0.3 kg
	DMX5212-12G-8A	0.3 kg

*1 : 2160/29.97p,29.97psf の 3G DUAL LINK は、1080/29.97pB,29.97psfB として表示

1 5 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp